

# 昔話を語り継いで

## 再話集「むかしむかし山梨・長野」



山梨・茅野昔ばなし大学再話研究会が刊行した昔話の再話集

再話は、1話につき1年がかりで行う。語り手から聞き取った旧字などで書かれた昔話や資料を基に、子どもにも分かりやすい言葉や文字で表現。注釈を付け、土地に伝わる言葉をそのまま残すなど二

昔話研究の第一人者とされる筑波大学名誉教授の小澤俊夫さんが、全国各地で聞く市民大学「昔ばなし大学」その受講者でつくる再話研究会のうち、二つの研究会が2016年に合併して山梨・茅野昔ばなし大学再話研究会となり、現在は7人のメンバーが所属している。

### 研究会が刊行

昔話を子どもたちに分かりやすく伝えようと、伝承活動に取り組む「山梨・茅野昔ばなし大学再話研究会」は、簡潔な語り口に書き直した再話集「むかしむかし山梨・長野」を刊行した。土地の言葉で口伝えされてきた長野、山梨両県の物語を中心に、38話を収録。冊子は諏訪、上伊那地域全市町村の図書館に寄贈した。「忘れられつつある昔話を次世代に語り継いでほしい」と願いを込める。

(小山眞由美)

### 諏訪、上伊那全市町村の図書館に寄贈

## 簡潔な語り口に書き直す

ユアンスを生かした文章もある。メンバーは昔話の語り口を学び、小澤さんのアドバイスを受けながら、修正を重ねて仕上げたという。

冊子は3部構成。「長野・伊那谷のおはなし」では、おならが人の役に立つ「屁ひりよめ」、鶏の鳴き声に窮地を救われる「目釘のにわとり」などを収めた。ハチの巣やイワナの

捕獲など地域の文化や食に触れる「しとり権兵衛」もある。「上伊那誌」伊那の昔ばなしなどを基に再話した伊那谷の話を多く取り入れた。

小澤さんは刊行の言葉で、子どもたちへの読み聞かせや語り盛んに行われる中で「昔話本来の、単純で明快な語り口を守った昔話集が必要」と寄せている。

長野チーム代表の高木千奈美さん(63)「岡谷市神明町」は「語りや読み聞かせに活用してもらい、耳から聞く楽し

さを子どもにもつてほしい」。メロ則子さん(74)「は「土地に伝わり、楽しんで話している。」

刊行を記念し、日午後2時から谷市立岡谷図書館作品を紹介する冊子はA5判400部製作。円。問い合わせは話0266・...5)へ。